

第1学年 国語科学習指導案

平成27年1月28日(水)3校時

1 単元名 おはなしをたのしもう

教材名 「たぬきの糸車」(光村図書 1年下)

2 単元の目標

- ・登場人物、場面の様子を想像し、話を楽しむことができる。
- ・登場人物の心情の変化を読み取ることができる。

3 単元の評価規準

観点	国語への関心・意欲・態度	読む能力	言語についての知識・理解・技能
単元の評価規準	<ul style="list-style-type: none">○場面や登場人物の様子を想像しながら、読もうとしている。○作品に興味をもって話を読み、思ったことや考えたことを発表している。○音読を工夫し、想像しながら読む楽しさを味わっている。	<ul style="list-style-type: none">○書かれている事柄や場面の様子に気づき、登場人物の心情を想像しながら読む。○語のまとまり、言葉の響きに気をつけながら読む。○語や文の内容や響きなどについて考えながら声に出して読んでいる。○情景や登場人物の心情を想像し、動作化している。	<ul style="list-style-type: none">○経験したことや想像したことなどについて、順序を整理し、文や文章を書いている。○話の中での擬音語・擬態語の役割、効果について理解している。

4 単元について

(1) 単元設定の理由

読むことを中心に学習する。場面の様子を読むことについては、おおきなかぶ、ゆうだち、くじらぐもで学習してきた。本単元で扱う「たぬきの糸車」の作品の柱となっているものは、「たぬきのいたずら心」であり、「おかみさんとたぬきの心の交流」である。これまでの学習を生かし、登場人物の心情について想像を広げながら読ませたい。

(2) 教材文について

物語の中には、糸車の「キークルクル」という擬音語や、「くるりくるり」というたぬきの目玉の動きである擬態語、山へ帰っていくたぬきの様子を表現した擬態語など、多くの擬音語、擬態語がでてくる。それがリズムカルな楽しさ、たぬきの行動の面白さとなり、物語を引き立てている。また、たぬきとおかみさんとの会話文が1つもないが、登場人物の様子から場面を想像することができる話である。挿絵も美しいので、情景を豊かに想像させて、子供たちを物語の世界に引き込ませる作品である。それらの言語表現や情景描写を通して「おかみさんとたぬきとの温かい心の交流」という主題に迫ることができる物語である。

5 研究主題に迫るために(学習活動の工夫)

(1) 4つの思考の型を取り入れた学習活動

(2) 物語を読む10の観点の使用

(3) 体験・動作化

- ・実際に糸車に触れさせ、場面の様子やたぬきの心情を想像させる。
- ・登場人物の心情を読み取らせるために、動作化を行う。

(4) ワークシートの工夫

- ・一単位時間ごとにワークシートを用意し、考える場面を限定することで、児童が想像しやすくなるようにする。また、サイドラインを引くための本文と自分の考えを書き込むスペースを一体化させることで、課題に取り組みやすくなるようにする。

6 学習指導計画（全9時間）

次	時	ねらい	主な学習活動と4つの思考	評価規準・方法
1	1	・「たぬきの糸車」を読み、初発の感想を交流する。	○題名や挿絵から話の内容を想像する。 ○教師の読み聞かせを聞き、初発の感想を交流する。 ○糸車の体験をする。	【関】話に興味をもち、感想を発表している。 (ワークシート、発言)
	2	・お話のあらすじをつかむ。	○物語のあらすじをとらえよう ★「ものがたりのかぎ」に基づき、物語の登場人物やあらすじを捉える。	【関】話に興味をもち、物語の設定についてまとめている。 (発表・ワークシート)
2	3	・第1場面を読み、“まいばんのように”に着目して、山奥で暮らすさびしさからいたずらをするたぬきの心情を考える。	第一課題「きこりとたぬきの様子を読み取ろう。」 ★たぬきときこりがしたことサイドラインを引く。(選択) 第二課題「たぬきはどんな心情でまいばんのようにいたずらしたのだろう。」 ★たぬきがどんな心情でいたずらをしたのかワークシートに書く。(類推) (言葉の力) “まいばん” に助動詞「～のように」を付け足すことで、登場人物の行動の頻度を表すことができる。	【読】“まいばんのように”に着目して、さびしくていたずらをするたぬきの心情を考えている。 (発表・ワークシート)
	4	・第2場面を読み、擬態語や繰り返し表現に着目して、おかみさんのたぬきに対する心情を考える。	第一課題「おかみさんとたぬきの様子を読み取ろう。」 ★おかみさんとたぬきがしたことサイドラインを引く。(選択) 第二課題「おかみさんがたぬきのことをかわいいと思ったのはなぜだろう。」 ★おかみさんとたぬきの様子から、おかみさんがなぜたぬきのことをかわいいと思っているか考える。(類推) ・「くるりくるり」→目玉がかわいく動いている様子 ・「まわすまねをする」→おかみさんのまねをしている様子 (言葉の力) 擬態語「くるりくるり」を使うことで、登場人物のかわいさを表現できる。	【読】擬態語や繰り返し表現に着目して、おかみさんのたぬきに対する心情を考えている。 (発表・ワークシート)
	5	・第3場面を読み、“こ	第一課題「たぬきをにがしてあげたおかみさんの心情	【読】“こわごわ”に着

		わごわ”に着目して、おかみさんににがしてもらったたぬきの心情を考える。	を考えよう。 ★おかみさんとたぬきの様子にサイドラインを引く。(選択) 第二課題「おかみさんににがしてもらった時のたぬきの言葉を考えよう。」 ★おかみさんににがしてもらった時のたぬきのせりふをワークシートに書く。(類推) (言葉の力) 副詞「こわごわ」を使うことで、登場人物の行動がおそろおそろ行われていることを表すことができる。	目して、おそろおそろたぬきを助けるおかみさんの様子を読み取り、助けてくれたおかみさんに対して感謝する、たぬきの心情を考えている。 (発表・ワークシート)
6		・第4場面を読み、“山のように”に着目して、おかみさんのために糸を紡ぐたぬきの心情を考える。	第一課題「おかみさんが驚いたわけを考えよう。」 ★第4場面を読み、なぜおかみさんが驚いたのかを考える。(類推) 第二課題「白い糸のたばが、山のようにつんであったのはどうしてだろう。」 ★なぜ、白い糸のたばがつんであったのか考える。(関係づけ) ★糸を紡いでいるたぬきの心情を考え、ワークシートに書く。(類推) (言葉の力) 比喻「～のように」を使うことで、出てくる物の量や形を別の物に例えて表現することができる。	【読】“山のように”に着目して、おかみさんに感謝するたぬきの感謝の心情を読み取っている。 (発表・ワークシート)
7		・第5場面を読み、“おどりながら”に着目して、喜びながら山へ帰って行くたぬきの心情を考える。	第一課題「帰って行くたぬきの心情を考えよう。」 ★たぬきの様子がわかる文にサイドラインを引く。(選択) 第二課題「たぬきのうれしい心情が表れている言葉を見つけよう。」 ★たぬきのうれしい心情が表れている言葉を見つけ、丸で囲む。(選択) (言葉の力) 接続助詞「～ながら」を使うことで、二つの動作や状態が同時に起こっていることを表現することができる。	【読】“おどりながら”に着目して、喜びながら帰って行くたぬきの心情を読み取っている。 (発表・ワークシート)
3	8 ・ 9	・おかみさんに手紙を書こう。	○たぬきの心情を想像しながら、おかみさんに宛てた手紙を書く。 ○書いた手紙を発表する。	【読】たぬきの心情を想像しながら、手紙を書いている。

7 本時の指導 (7/9時)

(1) 本時の目標 接続助詞「～ながら」に着目して、おどりながら山へ帰って行くたぬきの心情を読み取ることができる。

(2) 展開

	学習活動	指導上の留意点	評価規準
--	------	---------	------

導 入	<p>1 前時までの学習を振り返る。</p> <p>2 本時の課題を知る。</p>	<p>・前時までの振り返りをし、児童の興味 関心を高める。</p> <p>・たぬきの様子、心情を考えながら読む。</p>	
たぬきはどんな気持ちで山へ帰っていたのだろう。(第一課題)			
展 開	<p>3 たぬきの気持ちがわかる部分にサ イドラインを引き、発表する。</p> <p>4 場面絵を見て、たぬきの心情を考え る。</p> <p>5 たぬきのうれしい心情があらわれ ている文を丸で囲む。</p> <p>6 山へ帰っていくたぬきの様子を動 作化する。</p> <p>7 たぬきが何と言って帰っていった のか考え、ワークシートに書く。</p> <p>【言葉の力】 ・「～ながら」…二つの動作・状態が同 時に起こることを表 す接続助詞</p>	<p>・たぬきの行動から、場面の様子をおさ える。</p> <p>・“うれしくてたまらないように、ぴよん ぴよこおどりながら”に注目させ、た ぬきが喜んでいる様子を読み取らせ る。</p> <p>・「踊りながら」と「踊るように」のちが いを考えさせる。</p> <p>・“ぴよんぴよこおどりながらかえって きました”という言葉から、たぬきの 心情を想像させる。</p>	<p>【読】書かれている事柄や 場面の様子に気づき、登場 人物の心情を想像しながら 読んでいる。</p> <p>【読】たぬきの様子から心 情を読み取ることができ る。 (ワークシート、発表)</p>
ま と め	<p>8 たぬきのせりふを発表し、交流す る。</p>		